

新規輸出 1 万者支援プログラム 支援事例

株式会社グリーズ北見 (北海道)

資本金 1億円

従業員数 145名

事業内容 農産冷凍食材や冷凍食品、オニオンスープ等の製造・販売

利用メニュー 道産食品輸出塾、新輸出大国コンソーシアムハンズオン支援、海外見本市出展支援



背景・きっかけ

- オニオンスープを輸出商品として本格的に検討・開発。しかし、輸出に対する知識が不足していたため「道産食品輸出塾」へ入塾し情報収集を開始。
- ジェットロハンズオン支援に申請し採択されたことで、輸出先国の市場調査やWEB商談を繰り返すうちに具体的な数値目標を設定。
- 海外向けのオニオンスープ商品を新たに開発。事業成功に向け多様な支援策を活用したいという思いから登録。

支援内容

■ 海外見本市のジャパンブースへの出展支援

- 「FOOD TAIPEI 2023 - 台北国際食品見本市」のジェットロジャパンブースを紹介され初出展。スープを試飲提供したところ、来場者から好評だった。
- アジアでは火鍋（中国を中心に香港や台湾等で親しまれている火にかけて食べる鍋料理）が人気で、「是非、業務用のスープが欲しい」との要望があった。
- 8月にはホタテ味のスープも開発、販売開始したところ、同様に台湾バイヤーからも高評価だった。

利用者の声

- 輸出サポートに関する情報が適宜提供されるので、輸出への感度が向上した。
- 伴走型支援の利用で、輸出事業へ継続的に取り組めるようになった。
- 輸出へ取り組む他事業者との交流で、輸出がより身近に感じられるようになった。

支援の結果

- 要望があった企業とは商談継続中。業務用スープのパッケージデザインも考慮しながら商品化を進めている。
- 同社製品は「具材が入っていないため、スープとしてだけでなく鍋料理の出汁のような使い方ができる」とした提案方法の学びを得た。

新規輸出 1 万者支援プログラム 支援事例

有限会社澤田米穀店 (北海道)

資本金 500万円 従業員数 5名

事業内容 米穀類の精米・製粉や米菓製造販売

利用メニュー 海外コーディネーター（農林水産・食品分野）による輸出相談サービス、農林水産・食品分野の輸出専門家（プロモーター）による個別支援サービス（ほか）



背景・きっかけ

- 同社は少子高齢化による国内市場の縮小を見据えて、2020年からジェトロの支援のもと、商品の原料トレースができることによる安心・安全を武器に、香港、東南アジアを中心に乳児から食べられる米菓の製造・輸出に取り組んできた。
- 当初、ものづくり補助金の活用を視野に一万者支援に登録。
- 登録を機にターゲットとなる国を絞り込むなど事業の見直しをしようと考えた。

支援内容

輸出専門家（プロモーター）による個別支援サービス

- 海外で行われる食品展示会に、ジェトロ専門家も同行。商談時のアドバイスを受け、あわせて同専門家が持つコネクションを利用して現地企業のヒアリングも実施。
- 取引が始まった企業から商品に関するフィードバックも得られ、改良につながった。
- 専門家から、これまでの支援内容を見直し、東南アジアのターゲットをタイに集中することの提案を受けた。

利用者の声

- 現地に精通した専門家からの的確なアドバイスが受けられることで、自信を持って輸出に取り組むことができた。
- 現地バイヤーからの商品へのフィードバックも得られ、市場に応じた商品改良につながった。
- 今では輸出することを楽しんでいる。

支援の結果

- 24年1月にタイ・バンコクで開催される商談会にジェトロ支援のもと、出展予定。
- 今後は中小機構の支援も受けながら、欧州市場にもチャレンジする。

新規輸出 1 万者支援プログラム 支援事例

前田農産食品株式会社（北海道）

販売会社：有限会社十勝太陽ファーム

資本金 200万円 従業員数 14名

事業内容 小麦粉等食品卸売業、
小麦粉、十勝ポップコーンの小売販売



利用メニュー 新輸出大国コンソーシアム スポット支援、ハンズオン支援、
Japan Street、サンプルショールーム、
中小企業海外ビジネス人材育成塾

背景・きっかけ

- 電子レンジで作るポップコーンの国内販売に取り組んでいる。
- 海外輸出にも取り組みたいと考え、以前より貿易投資相談等でのJETRO利用はあったものの、2023年3月に1万者支援プログラムに登録。
- 米国、香港向けに自社栽培のトウモロコシを使ったポップコーンの輸出に取り組み始めた。

支援内容

- ポップコーンのパッケージデザインや規制について、専門家によるスポット支援を利用し、相談。
- サンプルショールーム、北海道での輸出商談会へ参加。

支援の結果

- 香港にて行われたサンプルショールーム事業で引合あり、バイヤーと商談実施。

株式会社ひらかわ牧場（北海道）

輸出未経験

資本金 100万円 従業員数 4名

事業内容 牧場経営(農場HACCP認証取得)
アイスクリームの製造販売



利用メニュー 海外コーディネーター（農林水産食品）による
輸出相談サービス / 香港・シンガポール、
商社マッチング、Japan Street

背景・きっかけ

- 国内の市場の縮小による海外需要の取り込みを目指す。
- 夏場だけでなく年間を通したアイスクリームの需要確保、安定的な販売のため。
- 2023年2月に1万者支援プログラムに登録。

支援内容

- 1万者支援プログラムの登録をきっかけに北海道事務所の面談を実施。
- 海外コーディネーターによる情報提供や、海外商談実習セミナーを活用した他、各種商談会に参加。

支援の結果

- 2023年1月の商社マッチングにて4社と商談し、合計515万円の成約見込みを獲得し、商談を継続中。
- その他シンガポール向けにも商談継続案件あり。